

まいづる  
海自カレー



## 9月22日 海上自衛隊の「見学ツアー」 昨年度の全店制覇者36人を招待



各地から36人が参加されました(9月22日北吸棧橋)

9月22日、昨年度の「まいづる海自カレー事業」で全11店舗を回った人の中から選ばれた36人が、海上自衛隊舞鶴地方隊の「見学ツアー」に参加しました。

この催しは、海上自衛隊のご理解とご協力の中で開催したもので、全店舗の制覇者156人の中から抽選で選ばれた皆さんを対象に行いました。参加者は、海軍記念館や北吸棧橋に停泊中の護衛艦「みょうこう」の艦内を見学。東が埼玉県、西は島根県という遠方からの参加者もあり、舞鶴地方総監部の広報係員と「みょうこう」隊員からの丁寧な案内のもとで、個人では聞けない解説や普段は見ることのできない施設内を歩くなど、それぞれが満足された様子でした。

## 2018年クルーズ客船のまとめ

# 初の中国・大連港からなど 23回寄港 港湾機能強化完成で16万トン級の船も

舞鶴商工会議所では、京都舞鶴港の振興やまちづくりの重要な柱として、関係者とともにクルーズ船の誘致に向け積極的に取り組んでいます。平成30年度は、去る4月2日に「シルバー・ディスカバラー」が第1船として入港したのを皮切りに、9月14日の「ばしふいっくびいなす」まで、全23回の寄港がありました。

今年は、「舞鶴国際ふ頭の機能強化事業」の完成に伴い寄港が実現した、過去最大の16万トン級クルーズ船「オペーション・オブ・ザ・シーズ」をはじめ、「チャイニーズ・タイシヤン」など4隻が初寄港。この中で「チャイニーズ・タイシヤン」は、舞鶴市と友好都市である中国・大連市の大連港からのクルーズ船で、「大連市友好都市訪問団」一行約450人が来訪。市内での観光やショッピングなどを楽しみました。

また、来年度についても、夏期に京都舞鶴港からの乗船となる「コスタ ネオロマンチカ」での日

本海周遊クルーズの寄港が決定。既に販売が開始されるなど、順調に寄港日程が決まりつつあります。

現在「クルーズ船の誘致」は、全国の港湾で取り組まれる中、これまで以上に激しくなることが予想されています。舞鶴商工会議所では、京都府や舞鶴市と連携し、舞鶴港の優位性を最大限活かすとともに、ハード・ソフトの環境整備や誘致活動を強化しながら、引き続き推進していく予定です。(写真は舞鶴市提供)



初めて友好都市大連市の大連港から入港(5月14日 第2ふ頭)